

【2年国語】 取組シートの書き方（例）

〈内容〉

ア) 教科書の「見えないだけ(p16～p17)」を読んで、この詩にふさわしい朗読の仕方について考え、気付いたことや考えたことを家の人に伝えよう。

ろうどく

※この例を参考に、取組シートやノートなどにまとめよう。

できる人はふきだしのアドバイスも参考にしよう。

p16～ 見えないだけ

詩から受けた印象にふさわしい朗読の仕方

印象 やさしい・あたたかい・わくわくする・気になる

詩を読んで感じたことを
たくさん書きだそう

好きな表現 「もっと青い空」…いつも見ている空の色より「もっと」青い空という表現が

好きな表現とあわせて
理由も言葉にしてみよう

新鮮に感じた。期待や想像が広がっていく感じが楽しい。

工夫されていると思う表現

「胸の奥で～世界」「次の垣根で～季節」「少し遠くで～友だち」

どのように工夫されて
いるか自分の言葉で
説明してみよう

→似たような形で書かれている。「浮かんでいる・眠っている」の
ように様子ではなく、「世界・季節・友だち」は物事の名前？

読み方 ・速く読むよりも、ゆっくりゆったり読む方が良い。

・優しい声で読みたいが、強調したいところは少し大きく。

・わくわくするような、期待が高まるような、明るい声で。

実際に読んでみて
気をつけたことを
書きだそう

■この学習課題に取り組むことが難しい場合は、「光村図書」のホームページを検索してみてください。
「臨時休業中の児童生徒用に向けた学習支援コンテンツ」というページに、ワークシートが載っています。取組シートやノートの代わりに、光村図書のワークシートを使用しても構いません。

■ワーク(p4～6)に取り組みましょう。授業の際に提出できるよう準備しておいてください。

数学科から臨時休業中の学習サポート

札幌市の公式ホームページ臨時休業中の学習課題について、各学年1回分セレクトして解答例を作成しましたので、今後の学習課題も参考にして進めてください。

＜数学科からのオススメ＞

札幌市の公式ホームページ臨時休業中の学習課題の「役立つリンク集」には中学校で使用している教科書の出版社が作成した自学自習用のワークシートがその都度更新されています。（数学の教科書の出版社は「学校図書」です。）ぜひ利用してください。「自学自習用ワークシート」は教科書の内容に沿ったもので、解答もあります。また、数学に興味・関心は高い方は自由研究として「数楽ランド」を利用してください。

- ① 以下のURLもしくは右のQRコードからサイトへ入る

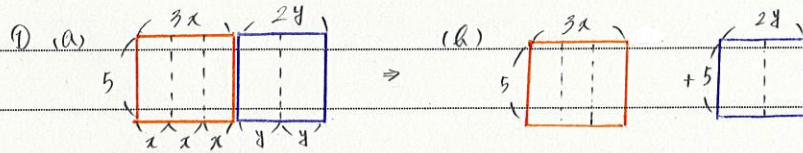
<https://gakuto.co.jp/contents-worksheet/>



- ② 上記①の「中学校＞数学＞自学自習用ワークシート」のリンクをクリックする。

4/20 ~ 4/24

②取組シート (教科: 数学) 名前 _____



長方形の面積

= (縦) × (横)

(a) E式に表すと $5 \times (3x + 2y)$

(b) E式に表すと $5 \times 3x + 5 \times 2y$

② (a) の式を 分配法則 を使い、() E はずすと、(b) の式になる。

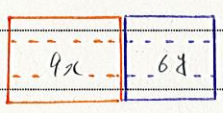
$a(b+c) = ab+ac$, $(b+c)a = ab+ac$

∴ (b) の式は計算することができる

$$\underbrace{5 \times (3x + 2y)}_{(a)} = 5(3x + 2y) = \underbrace{5 \times 3x + 5 \times 2y}_{(b)} = 15x + 10y$$

③ (1) $3(x+5y)$	(2) $-4(-2a+b)$	(3) $(7a-4b) \times 5$
$= 3 \times x + 3 \times 5y$	$= -4 \times (-2a) + (-4) \times b$	$= 7a \times 5 - 4b \times 5$
$= 3x + 15y$	$= 8a - 4b$	$= 35a - 20b$

→ (1) ~ (3) のように (3) ~ (6) に取り組ましよう

④  → $(9x+6y) \div 3$ → $9x \times \frac{1}{3} + 6y \times \frac{1}{3}$ → $3x + 2y$

$\div 3$ E $\times \frac{1}{3}$ に直せば、分配法則を用いて計算することができる

⑤ (1) $(10x - 25y) \div 5$	(2) $(-12a + 6b) \div (-3)$
$= (10x - 25y) \times \frac{1}{5}$	$= (-12a + 6b) \times (-\frac{1}{3})$
$= 10x \times \frac{1}{5} - 25y \times \frac{1}{5}$	$= -12a \times (-\frac{1}{3}) + 6b \times (-\frac{1}{3})$
$= 2x - 5y$	$= 4a - 2b$

⑥ 共通していること

・ 分配法則を用いて、() E はずし計算する

ちがうこと

・ 文字が 1種類だけの式が、2種類になっている。

まとめ

・ 文字の種類が増えても、多項式と数の乗法・除法は、分配法則を用いて計算することができる。

〈内容〉室町時代に広まった「自分たちのことは自分たちで解決する」という考え方によって、社会がどのように変化したか、調べたり考えたことを取り組みシートやノートにまとめてみよう。

★教科書 P76, 77の本文を参考に取り組みシートやノートに文章でまとめてみよう！！

★あくまで参考です。自分に合ったまとめ方でまとめてみよう！ インターネットなども活用して調べてみよう！

★表や絵などがあっても OK！

(1) 1428年（正長元）には、近江国（滋賀県）の馬借が中心となり、幕府に対して徳政令（借金帳消し）を要求して土一揆を起こし（正長の土一揆）、土倉や酒屋を襲って、土地売買や貸借の証文をやぶりすて、質に入れた品物をうばいました。これをきっかけに、土一揆が近畿地方を中心に広がりました。

かつて、奈良時代の律令制度では、天皇を頂点とし、中央政府（朝廷）が決めた政策によって、人々と土地を支配していました。中央政府は唐の制度にならい、租・調・庸などの税を農民に負担させましたが、調（特産物）や庸（布）は、自分たちで都まで運ばなければならず、農民にとって重い負担になりました。そのため、農民は、負担からのがれるために逃亡や戸籍をいつわるようになった。しかし、室町時代になると人々は、1人では実現が困難な目的を成し遂げるために、タテのつながり（主従関係）とは別に、共通な利害をもつ者どうしのヨコの結びつきを強めました。このように、全員が平等の立場で神仏の前で誓い合い、団結して一揆を行い、支配者に対抗したのです。その後、農民による組織（惣・惣村）が生まれ、協力して自治を行うようになりました。

(2) 村では、農民が荘園の枠をこえて団結するなど、地域を自分たちで運営する動きがありました。その代表が惣（惣村）です。村の代表を決め、寄合を開いてもめごとなどを解決したり、独自に村のおきてをつくったりしました。教科書P77の近江今堀郷の村では、水争い・境界争いなどの対外的な紛争が生じた場合の共同行動などについて定められました。このように「自分たちの身は自分たちで守る」という強い決意のもと、惣村の秩序をしっかりと守ることで、惣村の農民たちは領主の支配から次第に自立していくようになったと考えられます。

このころ、都や幕府がおかれた京都・奈良・鎌倉（神奈川県）のほかに、堺（大阪府）・兵庫・博多（福岡県）などの港町や、大きな寺社がある門前町が生まれました。こうした都市では、商業・手工業が発達し、商工業者の多くが座という同業者団体をつくり、営業を独占しました。また、京都の町衆と呼ばれる富裕な商工業たちは、自治的な都市運営を行った代表であり、寄合を開いて町の自治を行い、町内の争いごとを解決し、幕府や守護大名などの干渉をはねのけていきました。この町衆は、応仁の乱で中止となった祇園祭（教科書P77の④）を復興させるなど、政治や経済に大きな影響力があったことがわかります。

オススメのやり方

教科書 p12~13 を読む → 分かったことをシートにまとめる → p13 の「ふれいく time」を読む。

→ できるとは 7-7 の p4 図 もやる。

マイノート p25 図 もやってみる。

② 取組シート (教科: 理科) 名前

※ 下の例を参考に、自分なりのまとめ方を考えてみよう! 使うシートは方眼や無地でもOK。ノートでもOK。

今日の内容: 「細胞呼吸」とはどんな活動なのだろうか。

< 大事な言葉 >

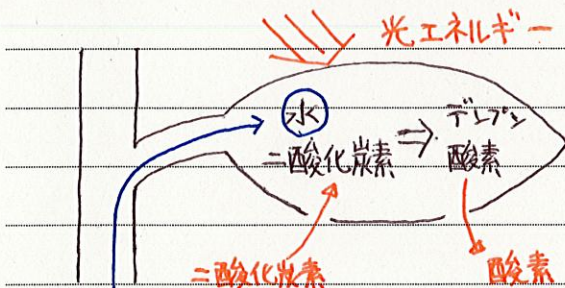
- ・ **細胞呼吸** …… 細胞で行う呼吸。肺で行う呼吸は外呼吸という。
(内呼吸) 細胞内で酸素を使って栄養分を分解し、エネルギーをとり出すはたらき。

< 細胞呼吸のしくみ >

※ 光合成ができていない動物は食べることで栄養分もとりに入れている。

ここまで必ず書こう!

できるとは ……

↓ < 植物の光合成と呼吸 >① 光合成 $CO_2 \rightarrow O_2$ ② 呼吸 $O_2 \rightarrow CO_2$

- ・ 呼吸は細胞呼吸と同じで、栄養分と酸素からエネルギーをとり出し、水と二酸化炭素を出す。
- ・ 光合成は呼吸と反対の反応が起こる。

< 有機物を燃やす現象 >

燃焼さじ



有機物

もやす → 黒くこげる

→ CO_2 が発生 → 石灰水が白くにごる。

→ 水が発生 → ビンの内側りがくもる。

砂糖なども燃やす。

↑ 細胞呼吸と原料と発生するものは共通

「ふれいく time」を読んで、ガソリンも同じなんだと思った。どうして同じ反応に見えるのに、細胞呼吸で細胞が高温にならないか不思議に思った。

【2年 英語】

〈内容〉

教科書 P.9 の会話文は、ウッド先生が由紀に春休みの過ごし方について話している様子です。2人の会話を読んで、次のことに挑戦してみましょう。

〈取り組みシートの書き方〉(例) ※この例を参考に、自分なりにまとめてみてください。

※使用するシートは、横罫、方眼、無地のどれでもよいです。

- ① ・先週の日曜日に京都に行った。 (Ms.Wood went to Kyoto last Sunday.)
・初めて枯山水の庭を見た。 (She saw a *karesansui* garden for the first time.)
・たくさんの写真を撮った。 (She took a lot of pictures.)
・嵐山で湯豆腐と田楽を食べた。 (She had *yudofu* and *dengaku* in Arashiyama.)

② Yuki: ^{ディジュ} Did you ^{エンジョイ ユ ア ヴェイケーション} enjoy your vacation? ↗

Ms.Wood: ^{イエス} Yes. ↘ ^{アイ ウェン トウ キョウト ラス サン デイ} I went to Kyoto last Sunday. ↘

Yuki: ^{ユ デイドゥ} You did? ↗ ^{ワ ッ ディ ジュ スイ デ ア} What did you see there? ↘

Ms.Wood: ^{アイ ソー ア カレ サンスイ ガードウン フォー ダ ファース タイム} I saw a *karesansui* garden for the first time. ↘

Yuki: ^{ア カレ サンスイ ガードウン} A *karesansui* garden? ↗

Ms.Wood: ^{イエス} Yes. ↘ ^{イツ ア ジャーパニーズスターイル ロック ガードウン} It's a Japanese-style rock garden. ↘ ^{イツ ヴェリ トウラディーショナル} It's very traditional. ↘

^{アイ トウツカ ロットウ オブ ピクチャーズ} I took a lot of pictures. ↘ ^{ヒ ア デイ アー} Here they are. ↘

Yuki: ^{ワ オ ビューティフォー} Wow, beautiful! ↘ ^{ディジュ イー エニ キョウト ディシュイズ} Did you eat any Kyoto dishes? ↗

Ms.Wood: ^{イエス} Yes. ↘ ^{アイ ハドウ ユドウフ アン デン ガク イン アラシヤーマ} I had *yudofu* and *dengaku* in Arashiyama. ↘

※目的外使用や無断転用はご遠慮ください。

(日本語訳) 由紀:先生は休暇を楽しんだのですか?

ウッド先生:ええ。先週、京都に行ったのよ。

由紀:そうだったんですね。そこで何を見たのですか。

ウッド先生:枯山水の庭を初めて見たわ。

由紀:枯山水の庭ですか?

ウッド先生:そうよ。それは日本式の岩の庭なの。とても伝統的なのよ。

写真をたくさん撮ったわ。ほら。

由紀:わあ、きれいですね。京都のお料理を何か食べましたか。

ウッド先生:ええ。嵐山で湯豆腐と田楽を食べたのよ。



③ ★音声を聞きながら取り組む課題です。

http://www.city.sapporo.jp/ncms/streaming/kyoiku/020420_2nd_grade.html

Did you go anywhere for spring vacation? (あなたは春休みにどこかに行きましたか。)

→ Yes, I did. (はい、行きました。)

What did you see there? (あなたはそこで何を見ましたか。)

→ I saw a *karesansui* garden. (枯山水の庭を見ました。)

Did you? How was it? (見たのですね。それはどうでしたか。)

→ Yes, I did. It was very traditional. (はい、見ました。とても伝統的でした。)

Did you try new dishes? (あなたは新しい料理を食べてみましたか。)

→ Yes, I did. (はい、食べました。)

★音声がなくても取り組むことができる課題です。

Did Ms. Wood go anywhere for spring vacation? (ウッド先生は春休みにどこかに行きましたか。)

→ Yes, she did. (はい、行きました。)

What did she see there? (彼女はそこで何を見ましたか。)

→ She saw a *karesansui* garden. (枯山水の庭を見ました。)

Did she? How was it? (見たのですね。それはどうでしたか。)

→ Yes, she did. (はい、見ました。)

It was very traditional. (とても伝統的でした。)

Did she try new dishes? (彼女は新しい料理を食べてみましたか。)

→ Yes, she did. (はい、食べました。)